

ひどい

転作交付金 カット！

(水田活用直接交付金)

“サギ”まがいの農家いじめは中止せよ

5年間に1度も水張しない農地は対象外
多年生牧草は1万円に減額

政府は、今年度から5年間に1度も米を作らなかつた水田を「水田活用直接支払交付金」の対象にしない、多年生牧草は1万円に減額する、などの方針を発表しました。突然の減額は経営に大打撃です。

長年、政府の減反政策に協力してきた農家に一方的に交付金カットは許せません。定着している転作がダメになり、多年生牧草が1万円に減額されたら継続が危ぶまれます。

**低米価は放置して、減反は史上最大、
予算増やさず農家から交付金を取りはがす！**

なぜこんなことになるのか。

コロナ禍で大幅に下落している米価対策をとらず、農家に21年度6・7万円、22年度5万円、あわせて11・7万円という史上最大の減反拡大を押し付け、一方、交付金予算は増やさず、これまで交付金を受けていた農家から「取りはがす」というものです。

水田交付金「見直し」を撤回せよ！

突然の政府の「見直し」に、農家はとまどい、農協や自治体も混乱しています。こんな農家をばかにしたやり方は絶対に許せません。「見直しをただちに中止せよ」の声をあげましょう。

- ◆「水田活用直接支払交付金」の見直しを中止し、減反拡大に見合う予算を確保せよ。
- ◆政府の責任で過剰米の市場隔離を実施せよ。
- ◆生活困窮者に手厚い食料支援をおこなえ。

農民連

(農民運動全国連合会)

〒173-0025 板橋区熊野 47-1 社医研センター2F

☎03 (5966) 2224

メール info@nouminren.ne.jp

水田交付金見直しの主な内容

- 水路や畔があっても、2022年から5年間、水張りが行われない農地は対象外。
- 多年生牧草は10畝 3.5万円から1万円に減額。
- 飼料用米の複数年加算(1.2万円)の廃止。